診療科目

総合診療科、総合診療内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、肝腫瘍科、膠原病ﾘｳﾏﾁ内科、腎臓内科、内分泌内科、血液内科、脳神経内科、循環器科、心血管ｶﾃｰﾃﾙ治療科、成人先天性心疾患科、精神科、透析科、産婦人科、産科、婦人科、生殖・機能医学科、周産期科、小児科、新生児科、小児循環器科、小児腎臓科、小児神経科、外科、上部消化管外科、一般外科、肝胆膵外科、外傷救急外科、乳腺科、大腸肛門科、大腸骨盤臓器外科、小児外科、呼吸器外科、泌尿器科、総合性治療科、耳鼻咽喉科、眼科、水晶体再建科、眼形成眼窩外科、形成外科、放射線科、IVR科、核医学診断科、腫瘍放射線科、緩和医療科、化学療法科、支持医療科、皮膚科、麻酔科、心臓血管外科、血管外科、小児心臓外科、成人心大血管外科、脳神経外科、小児脳神経外科、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科、整形外科、骨・関節外科、ｽﾎﾟｰﾂ整形外科、足の外科、せぼね骨腫瘍科、脊椎脊髄外科、上肢外傷外科、肩関節外科、手外科、微小血管外科、臨床検査科、病理診断科、救急・集中治療科、脳卒中科、てんかん科、臨床遺伝科、歯科、口腔外科、矯正歯科、総合歯科（計：79科）

認定施設

健康保険医療機関
国民健康保険療養取扱機関
労災保険指定医療機関
結核予防法指定医療機関
生活保護法指定医療機関
被爆者一般疾病医療機関
指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療・精神通院医療）
母子保健法指定養育医療機関
小児慢性医療指定医療機関
難病法に基づく指定医療機関
特定疾患治療取扱病院
臓器移植推進協力病院
開放型病院
地域医療支援病院
基幹型臨床研修管理指定病院
総合周産期母子医療センター
救命救急センター
地域がん診療連携拠点病院
エイズ拠点病院
地域肝疾患診療連携拠点病院
災害拠点病院
静岡県医療措置協定締結機関（第一種・第二種指定医療機関）

病床数

750床

学会認定

NCD施設会員
浅大腿動脈ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ実施基準管理委員会認定浅大腿動脈ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ実施施設
日本Pediatric Interventional Cardiology 学会・日本心血管
　ｲﾝﾀｰﾍﾞﾝｼｮﾝ治療学会教育委員会認定経皮的心房中隔欠損閉鎖術施行施設
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設、支援施設
日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
日本膵臓学会認定指導施設
日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム（NST）専門療法士認定教育施設
日本臨床神経生理学会認定施設（脳波分野）
補助人工心臓治療関連学会協議会認定IMPELLA補助循環用ﾎﾟﾝﾌﾟｶﾃｰﾃﾙ実施施設
関連10学会構成日本ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ実施施設
関連10学会構成日本ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ実施施設
経ｶﾃｰﾃﾙ的大動脈弁置換術関連学会協議会経ｶﾃｰﾃﾙ的大動脈弁置換術実施施設
呼吸器外科専門医合同委員会専門研修基幹施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本IVR学会専門医修練施設
日本Pediatric Interventional Cardiology 学会・日本心血管
　ｲﾝﾀｰﾍﾞﾝｼｮﾝ治療学会教育委員会認定経皮的動脈管閉鎖術施行施設
日本胃癌学会認定施設B
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本がん・生殖医療学会日本がん・生殖医療登録システム登録事業への参加施設
日本胆道学会指導施設
日本てんかん学会研修施設
日本プライマリ・ケア学会設認定証認定医研修施設
日本プライマリ・ケア連合学会総合診療専門研修プログラムの質向上ﾈｯﾄﾜｰｸ
日本プライマリ・ケア連合学会病院総合医養成プログラム認定
日本リウマチ学会教育施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
日本栄養療法推進協議会NST稼動施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本核医学会専門医教育病院
日本緩和医療学会基幹施設
日本肝臓学会認定施設
日本癌治療学会認定がん医療ﾈｯﾄﾜｰｸﾅﾋﾞｹﾞｰﾀｰ・ｼﾆｱﾅﾋﾞｹﾞｰﾀｰ認定見学施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（咽喉系）
日本形成外科学会教育関連施設
日本血液学会認定専門研修教育施設
日本健康・栄養システム学会臨床栄養師研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本口腔外科学会認定研修施設
日本甲状腺学会認定専門医施設
日本高血圧学会専門医認定施設
日本産婦人科学会子宮頚癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘出術
日本産婦人科学会温存後生殖補助医療の研究事業参加施設
日本産科婦人科学会研究事業参加施設
出生前検査認証制度等運営委員会NIPTを実施する医療機関（基幹施設）
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本手外科学会認定研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期専門医（新生児）暫定認定施設
日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）暫定認定施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本循環器学会大規模臨床試験（周産期心筋症（産褥心筋症））研究　参加施設認定
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設
日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
日本小児外科学会教育関連施設
日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設
日本小児神経学会研修施設
日本消化管学会指導施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本消化器外科学会学会連携証明書（腹腔鏡下肝切除術）
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本消化器病学会認定施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本心血管インターベンション治療学会卵円孔開存閉鎖術実施施設
日本神経学会教育施設
日本腎臓学会研修施設
日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医総合修練施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修連携施設
日本精神神経学会精神科専門医研修施設
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
日本先天性心疾患ｲﾝﾀｰﾍﾞﾝｼｮﾝ学会施設認定（AMPLATZERﾋﾟｯﾛｵｸﾙｰﾀﾞｰ適正使用施設）
日本専門医機構・総合診療専門医検討委員会聖隷浜松病院総合診療専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本医学放射線科学会聖隷浜松病院放射線科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本外科学会聖隷浜松病院外科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本救急医学会聖隷浜松病院救急科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本形成外科学会聖隷浜松病院形成外科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本産婦人科学会聖隷浜松病院産婦人科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本小児科学会聖隷浜松病院小児科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本整形外科学会聖隷浜松病院整形外科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本内科学会聖隷浜松病院内科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本脳神経外科学会聖隷浜松病院脳神経外科プログラム認定
日本専門医機構・日本病理学会聖隷浜松病院病理専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本麻酔科学会聖隷浜松病院麻酔科専門研修プログラム認定
日本専門医機構・日本臨床検査医学会聖隷浜松病院臨床検査専門研修プログラム認定
日本大腸肛門病学会認定施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本透析医学会認定施設
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医指定研修施設
日本内分泌外科学会専門医関連施設
日本内分泌学会認定教育施設
日本乳癌学会認定施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定インプラント実施施設
日本認知症学会教育施設
日本脳卒中学会一次脳卒中センター
日本脳卒中学会研修教育病院
日本泌尿器科学会泌尿器専門医教育施設
日本泌尿器科学会精子および精巣又は精巣上体精子の凍結・保存に関する登録施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本病理学会研修認定施設A
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋冷凍焼術
日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
日本放射線腫瘍学会認定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
婦人科悪性腫瘍研究機構登録参加施設
下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会実施基準による実施施設
厚生労働省医政局外国医師等の臨床修練病院等指定
経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会経カテーテル的肺動脈弁留置術実施施設
日本病院会病院総合医育成プログラム（カリキュラム）
日本食道学会食道外科専門医準認定施設
日本外傷学会専門医研修施設
日本産婦人科内視鏡学会ロボット手術認定研修施設

外来診療時間

	診療時間	受付時間
月～金曜日	8:30～17:00	8:00～11:30
土曜日	8:30～12:15	8:00～11:00

※ 一部の診療科は午後も受け付けております。予約の方は上記時間に限らず、予約時間の前にご来院ください

外来休診

土曜午後・日曜・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
※ 当院受診の際は、お電話でご確認のうえご来院ください。

面会時間

面会時間は、療養上の安静と防犯上の問題などにより下記の時間にお願いしております。病室は【i】案内でご確認ください。

月～金曜日	14:00～20:00
土・日・祝日	10:00～20:00

※ NICU、GCU、小児科病棟の一部、
ICU／救命救急病棟では面会時間が異なりますので、
詳しくは病棟スタッフにおたずねください。

ご面会の方は病棟スタッフステーションで許可を得てから入室してください。
・お子様同伴の方、または個室以外の方はできる限りデイルームをご利用ください。
・一度に多人数の面会はご遠慮ください。
・風邪をひいている方の面会はご遠慮ください。
・ご面会は30分以内でお願いいたします。

基本診療料の施設基準等

医療情報取得加算（医科・歯科）
医療DX推進体制整備加算（医科・歯科）
地域歯科診療支援病院歯科初診科
歯科外来診療医療安全対策加算2
歯科外来診療感染対策加算3
急性期一般入院料1
急性期充実体制加算1
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1__15対1
25対1急性期看護補助体制加算_5割以上
夜間50対1急性期看護補助体制加算
夜間看護体制加算
看護職員夜間12対1配置加算1
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算2
緩和ケア診療加算
　栄養食事管理加算
精神科リエゾンチーム加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
　医療安全対策地域連携加算1
感染対策向上加算1
　指導強化加算
　抗菌薬適正使用加算
患者サポート体制充実加算
重症患者初期支援充実加算
報告書管理体制加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊娠管理加算
ハイリスク分娩管理加算
呼吸ケアチーム加算
術後疼痛管理チーム加算
後発医薬品使用体制加算2
病棟薬剤業務実施加算1
　薬剤業務向上加算
病棟薬剤業務実施加算2
データ提出加算2
入退院支援加算1
入退院支援加算3
　地域連携診療計画加算
　入院時支援加算
認知症ケア加算1
せん妄ハイリスク患者ケア加算
精神疾患診療体制加算
排尿自立支援加算
地域医療体制確保加算
救命救急入院料3　（含:広範囲熱傷）
　救急体制充実加算1
　小児加算
特定集中治療室管理料4　（旧2）（含:広範囲熱傷）
　小児加算
　早期離床リハビリテーション加算
総合周産期:母体・胎児集中治療室管理料
総合周産期: 新生児集中治療室管理料
小児入院医療管理料1
　保育士2名以上の場合
　無菌治療管理加算1
　養育支援体制加算

食事療養費

入院時食事療養Ⅰ・入院時生活療養Ⅰ
当院は、入院時食事療法（Ⅰ）の届け出を行っており、管理栄養士よって管理された食事を適時（夕食は午後6時以降）適温で提供しています。

食事代（食事療養費）

食事療養標準負担額は、1食につき510円です(一部例外を除く)。また、選択食を提供した場合は、さらに110円(税込）が加算されます。
標準食・選択食以外の食事として、特別メニュー食を取り入れております。メニュー・対象者・実施日などの詳細については、
担当栄養士にお問い合わせください。
特別メニュー食は2,200円（税込）ご負担いただきます。
食事代は所得に応じて減額される制度があります。詳しくは入院受付　までお問い合わせください。

特掲診療料の施設基準等

外来栄養食事指導料の注２
外来栄養食事指導料の注３
心臓ペースメーカー指導管理料　遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
外来緩和ケア管理料
糖尿病透析予防指導管理料
小児運動器疾患指導管理料
乳腺炎重症化予防・ケア指導料
腎代替療法指導管理料
一般不妊治療管理料
生殖補助医療管理料１
二次性骨折予防継続管理料１
二次性骨折予防継続管理料３
下肢創傷処置管理料
慢性腎臓病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
外来放射線照射診療料
外来腫瘍化学療法診療料１
　連携充実加算
　がん薬物療法体制充実加算
ニコチン依存症管理料
療養・就労両立支援指導料　相談支援加算
開放型病院共同指導料
がん診療連携計画策定料１・２
がん治療連携管理料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料1
医療機器安全管理料2
医療機器安全管理料(歯科)
歯科治療時医療管理料
救急患者連携運搬料
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注２
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
持続血糖測定器加算
　間歇注入シリンジポンプと連動する
　　持続血糖測定器を用いる場合及び皮下連続式グルコース測定
　間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合
遺伝学的検査
骨髄微小残存病変量測定
ＢＲＣＡ１／２遺伝子検査
がんゲノムプロファイリング検査
先天性代謝異常症検査
ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）
検体検査管理加算（Ⅳ）
国際標準検査管理加算
遺伝カウンセリング加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
胎児心エコー法
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
ヘッドアップティルト試験
皮下連続式グルコース測定
長期継続頭蓋内脳波検査
長期脳波ビデオ同時記録検査１
脳波検査判断料１
脳磁図（その他のもの）
神経学的検査
補聴器適合検査
黄斑局所網膜電図
全視野精密網膜電図
ロービジョン検査判断料
小児食物アレルギー負荷検査
内服・点滴誘発試験
センチネルリンパ節生検片側　（1併用法）
センチネルリンパ節生検片側　（2単独法）
経気管支凍結生検法
画像診断管理加算3
ポジトロン断層撮影(アミロイドPETを除く）
ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影（アミロイドＰＥＴを除く）
ポジトロン断層撮影（アミロイドＰＥＴに限る）
ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影（アミロイドＰＥＴに限る）
CT撮影（64列以上マルチスライス）
CT撮影（16列以上64列未満マルチスライス）
MRI撮影（3テスラ以上）
MRI撮影（1.5テスラ以上3テスラ未満）
MRI撮影（共同利用率）
冠動脈CT撮影加算
血流予備量比コンピューター断層撮影
外傷全身CT加算
心臓MRI撮影加算
乳房MRI撮影加算
小児鎮静下ＭＲＩ撮影加算
頭部MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
初期加算及び急性期リハビリテーション加算
摂食機能療法　摂食嚥下機能回復体制加算2
がん患者リハビリテーション料
リンパ浮腫複合的治療料
歯科口腔リハビリテーション料２
静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
硬膜外自家血注入
エタノールの局所注入（甲状腺）
エタノールの局所注入（副甲状腺）
人工腎臓1
　導入期加算２及び腎代替療法実績加算
　透析液水質確保加算
　慢性維持透析濾過加算
　下肢抹消動脈疾患指導管理加算
ストーマ合併症加算
ＣＡＤ／ＣＡＭ冠及びＣＡＤ／ＣＡＭインレー
自家脂肪注入
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術
　及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）
椎間板内酵素注入療法
緊急穿頭血腫除去術
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
脳刺激装置植込術、脳刺激装置交換術
脊髄刺激装置植込術又は脊髄刺激装置交換術
癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
角結膜悪性腫瘍切除手術
緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
緑内障手術（緑内障手術（流出路再建術（眼内法）
　及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））
網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
網膜再建術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）
　及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
上顎骨形成術（骨移動に伴う場合に限る。）、
　下顎骨形成術（骨移動に伴う場合に限る。）
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
乳がんセンチネルリンパ節加算1
乳がんセンチネルリンパ節加算2
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）
　及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は１肺葉を超えるもので
　内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超えるもので
　内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、
　十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
　小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
　腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、
　膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
胸腔鏡下弁形成術
胸腔鏡下弁置換術
経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）
経カテーテル弁置換術（経皮的肺動脈弁置換術）
経皮的僧帽弁クリップ術
胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
不整脈手術　左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）
不整脈手術 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）
　及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）
　及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）
　及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、
植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）
　及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術　（心筋電極の場合）
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）
　及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
補助人工心臓
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術
腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）
体外衝撃波胆石破砕術
腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、１区域切除（外側区域切除を除く）、
　２区域切除及び３区域切除以上のもの）
体外衝撃波膵石破砕術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る）
　（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下小切開副腎摘出術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、
　腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術　（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
　及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術　（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
腹腔鏡下腎盂形成手術　（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術
腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
人工尿道括約筋植込・置換術
精巣温存手術
精巣内精子採取術
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
腹腔鏡下仙骨腟固定術
腹腔鏡下仙骨腟固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
胎児胸腔・羊水腔シャント術
無心体双胎焼灼術
胎児輸血術及び臍帯穿刺
体外式膜型人工肺管理料
手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造）
遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
周術期栄養管理実施加算
輸血管理料Ⅰ
輸血適正使用加算
自己クリオプレシピテート作製術（用手法）
同種クリオプレシピテート作製術
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
広範囲顎骨支持型装置埋入手術
麻酔管理料（Ⅰ）
麻酔管理料（Ⅱ）
周術期薬剤管理加算
歯科麻酔管理料
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線療法
　１回線量増加加算
ＩＭＲＴ_注２　１回線量増加加算
強度変調放射線治療（IMRT）
画像誘導放射線治療（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算
保険医療機関間の連携による病理診断
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
病理診断管理加算1
悪性腫瘍病理組織標本加算
口腔病理診断管理加算1
クラウン・ブリッジ維持管理料　（歯科）
歯科矯正診療料
顎口腔機能診断料〔顎変形症　（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の
　手術前後における歯科矯正に係るもの〕
看護職員処遇改善評価料
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
入院ベースアップ評価料

患者さんの権利と責務

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質にかかわらず、必要な医療を受ける権利があります。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性について、十分に理解できるような説明を受ける権利があります。
   ただし、主治医の判断によって、ご家族や代理の方にお話しする場合もあります。
3. あなたは、十分な説明と情報提供を受けた上で、治療、検査、その他の医療行為について、自らの意思に基づいて
   選択・決定することや、拒否する権利があります。なお、拒否をしたとしても一切の不利益を被ることはありません。
4. あなたは、納得した治療を受けるために、主治医以外の医師からの意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
   他の医師、また他の医療機関で診察をご希望される場合は、必要な資料を提供します。
5. 診療の過程で得られたあなたの個人情報は守られます。また、あなたは自らの治療、検査、その他の医療行為について、
   情報公開や説明を求める権利があります。
6. 上記の権利が侵害されたと感じる場合や、疑問を抱かれた場合には、あなたは意見を表明する権利があります。
7. あなたは、良質で安全な医療を受けるために、ご自身の健康情報をできる限り正確に医療者に提供し、
   自らの治療に参加・協力する責務を有します。
8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、あなたは他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に
   支障を与えないよう配慮するとともに、病院規則を守る責務を有します。

個人情報保護方針

聖隷浜松病院は、利用してくださる方の個人情報を正確かつ安全に取り扱い保護するために、
以下の個人情報保護方針を定め、これを実行し維持することに努めます。

1.当院は、個人情報保護に関する規定を定め、全職員が遵守することにより、個人情報の適切な管理に努めます。
2.当院は原則として、個人情報をご本人の診療・病院の運営管理・医療費請求・行政機関等からの要請・研修医等の
　臨床教育・スタッフの専門認定の申請の目的および必要な範囲においてのみ収集いたします。
3.当院は原則として、個人情報を外部の第三者には提供いたしません。ただし、ご本人のかかりつけ医（紹介医）等と
　当院の担当医との間で、この使用目的の範囲内で診療情報を共有する場合があります。
4.当院は、患者さんからご本人の個人情報の開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、
　当院の開示手順に従った対応をいたします。また、訂正や利用停止を求められた場合においても、調査し適切に対応いたします。
5.当院は、個人情報を安全かつ適正に取り扱うために個人情報保護の管理者をおき、規則の整備・教育啓発活動・監査等を行っております。
6.当院は、個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するための安全措置を講じております。
7.当院では、業務の一部を委託する場合、内部規定に従い信頼できる事業所等を選択すると共に、
　個人情報が不適切に扱われないように契約を交わしております。
8.当院は、個人情報に関して適用される法令その他の規則を遵守するとともに、
　上記各項における取り組みおよび保護活動を継続的に見直し、改善してまいります。

当院での患者さんの個人情報の利用目的

当院では、患者さんの個人情報については下記の目的に利用し、その取扱いには万全の体制で取り組んでおります。

【院内での利用】
1.患者さんに提供する医療サービス
2.医療保険事務
3.入退院等の病棟管理
4.会計・経理
5.医療事故等の報告
6.当該患者さんへの医療サービスの向上
7.院内医療実習への協力
8.医療の質の向上を目的とした教育および研修
9.その他、患者さんに係る管理運営業務（患者さんのお呼び出し、お見舞い客案内等）

【院外への情報提供としての利用】
1.他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
2.他の医療機関等からの照会への回答
3.患者さんの診療等のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
4.検体検査業務等の業務委託
5.ご家族等への病状説明
6.保険事務の委託
7.審査支払機関へのレセプトの提出
8.審査支払機関又は保険者への照会
9.審査支払機関又は保険者からの照会への回答
10.事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等へのその結果の通知
11.医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談または届け出等
12.医療費回収業務の弁護士や司法書士への相談又は委託等
13.その他、患者さんへの医療保険事務に関する利用

【その他の利用】
1.医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
2.医療の質の向上を目的とした教育および研修
3.学会・認定機関への認定申請時の症例
4.外部監査機関への情報提供
5.個人情報保護の保全のための遠隔地への保管

上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等をすることができます。

［ 更新日：2025 年 6 月 1 日 ］

カルテの開示

インフォームド・コンセント（十分な説明を行い、同意を得る事）の一環として、『カルテの開示』について院内規約を制定し、本規約に基づきカルテを開示します。
カルテには、患者さまご自身のプライバシーに関する情報が記録されていますので、患者さま以外の方への開示は原則として行いません。
また、カルテを開示することにより、今後の治療に好ましくないと想定される場合には、院内の審査委員会で検討し、是非を決めることとしています。
実際にカルテ開示を行う場合には、実費をいただくことになりますので、ご了承ください。カルテ開示を希望される場合には、患者支援センターまでお申し出ください。

各種相談のご案内

医療や福祉に関する相談で、入院・外来を問わず、ご遠慮なくご相談ください。相談により不利益を受けることはありません。

【医療福祉相談（患者サポート窓口）】　［平日］8：30～17：00　［土］8：30～12：15
社会福祉士・精神保健福祉士が、社会保障制度の活用、生活上及び入院上の不安・ご意見を伺います。
退院後の療養生活における心配ごとなどにも応じております。
経済的事情により、医療費の支払いが困難な場合には減免などの相談にも対応しています。

【総合看護相談・専門看護相談】　【2024年6月】［平日］9：00～16：00
総合看護相談では、疾患や治療にまつわる悩みや不安、臓器移植・医療安全に関する事などについてご相談を伺います。
専門看護相談では、各領域の専門知識を持った看護師が担当します。

【在宅療養支援相談・入院退院支援相談】　［平日］8：30～17：00
看護師が、在宅療養中の悩みや、入院前から退院後の生活の不安などについて
医師やケアマネジャー、訪問看護師などの院内外医療者と連携しながらご相談に対応します。

【介護保険相談（予約制）】　［平日］9：00～12：00、13：00～16：00
聖隷ケアプランセンターの介護支援専門員(ケアマネジャー)が介護保険の申請、
ケアマネジャーの選定などに関するご相談に応じております。

【医療安全相談】　［平日］8：30～17：00　［土］8：30～12：15
医療安全に関する相談受付窓口です。必要に応じ、医療安全管理者が対応することも可能です。
※　上記受付時間外の緊急を要する医療安全相談は、受付1番にお申し出下さい。

がん相談支援センターのご案内

聖隷浜松病院は「地域がん診療連携拠点病院」の認定を受けております。がんにまつわる疑問や心配事をお気軽にご相談ください。

- がんの病態や標準的治療法等、がんの治療に関する一般的な情報の提供
- がんの予防やがん検診等に関する一般的な情報の提供
- 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する地域の医療機関に関する情報の提供
- セカンドオピニオンや意思決定に関する相談
- 療養生活やアピアランスケアに関する相談
- 経済的なことや就労に関する相談
- 地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
- アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する相談
- HTLV−1関連疾患であるATLに関する相談
- 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援
- 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組
- がんゲノム医療に関する相談
- 希少がんに関する相談
- AYA世代にあるがん患者に対する治療療養や就学、就労支援に関する相談
- がん治療に伴う生殖機能の影響や、生殖機能の温存に関する相談
- 小児がんの長期フォローアップに関する相談
- 高齢者のがん治療に関する相談
- 障がいのある方への支援に関する相談
- その他相談支援に関すること

【患者サロン・相談会など】
がん相談支援センターでは、治療と生活の両立を支援しています。
がん患者さん・ご家族が知識を深めたり思いを語り合う場として「がん患者さん・ご家族のための学びと語りの会」や
就労に関する悩みを相談できる場として「社会保険労務士による就労個別相談会」「ハローワーク浜松による就労相談会」を設けています。
開催の詳しい内容については院内掲示ポスター、ホームページ(お知らせ欄)、がん相談支援センターまでお問い合わせください。
電話でのご相談も応じています。視覚・言語障害等により対面・電話が難しい場合には個別に対応いたします。

聖隷浜松病院　がん相談支援センター　電　話　053-474-2222(代表)、053-474-2666(直通)

緩和ケアサポートチーム

緩和ケアサポートチームとは、患者さんとご家族の心と体のつらさを和らげるために緩和ケアを専門とする医師、看護師、薬剤師、リハビリ療法士、公認心理師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど多くの職種で構成されたチームです。身体的、心理・社会的支援を主治医・担当看護師とともに行います。
具体的には、がんを患っておられる患者さんの痛みや不安、不眠、息苦しさなどの症状を評価し和らげる方法を検討、実践します。その他、地域のサービスなどの社会的支援の情報提供を行います。
対象は、すべての悪性疾患や末期心不全の患者さんとご家族です。
緩和ケアサポートチームをご利用になりたい方は主治医・担当看護師にご相談ください。

脳卒中ユニット（SU）

当院では、急性期の脳卒中患者さんを治療、管理するための専用治療室を有しており、脳卒中の専門家が集まったチームが入室した患者さんの診療を行います。チームは脳卒中専門医、脳卒中専門看護師、作業療法士など他職種で構成されており、カンファレンスを実施して、患者さんの病状に最適な治療を選択し診療を行っています。

診療録及びX線フィルム等の保存

より質の高い医療を行う為のひとつの手立てとして、法令で定められている年数を超えて診療録及びX線フィルム等の一部を外部保存いたしております。これらにつきましては、厚生労働省のガイドラインに則って搬送・保管を行っており、患者さまの個人情報の保護には万全を期しております。
本件につきまして、ご質問ご説明を希望されます場合は、診療情報管理室までお申し出ください。

緊急整復固定加算及び緊急挿入加算

大腿骨近位部骨折後48 時間以内に手術を実施した実績　（2024年1月～2024年12月実績）　71件

看護配置

当院の一般病棟は急性期一般入院料1の基準を満たしており、平均して入院患者7人に対して看護職員1人以上が勤務しております。
以下の病棟において、1日に325人以上の看護職員（看護師、助産師、準看護師）が勤務しています。

病棟	看護職員1人あたりの受け持ち患者数（平均）			1日に勤務する看護職員数
	8:30～16:30	16:30～0:30	0:30～8:30	
A3病棟	4人以内	10人以内	10人以内	16人以内
A4病棟	4人以内	10人以内	10人以内	16人以内
A5病棟	4人以内	8人以内	14人以内	15人以内
A6病棟	4人以内	8人以内	13人以内	17人以内
A7病棟	4人以内	10人以内	14人以内	16人以内
B3病棟	4人以内	10人以内	10人以内	20人以内
B4病棟	5人以内	13人以内	15人以内	17人以内
B5病棟	5人以内	12人以内	15人以内	16人以内
B6病棟	5人以内	11人以内	14人以内	15人以内
B7病棟	6人以内	12人以内	14人以内	14人以内

病棟	看護職員1人あたりの受け持ち患者数（平均）			1日に勤務する看護職員数
	8:30～16:30	16:30～0:30	0:30～8:30	
B8病棟	4人以内	10人以内	10人以内	16人以内
ICU	2人以内	2人以内	2人以内	18人以内
救命救急病棟	4人以内	4人以内	4人以内	21人以内
MFICU	3人以内	3人以内	3人以内	12人以内
C5病棟	3人以内	6人以内	6人以内	20人以内
NICU	3人以内	3人以内	3人以内	26人以内
GCU	3人以内	4人以内	5人以内	10人以内
C7病棟	4人以内	8人以内	8人以内	15人以内
C8病棟	6人以内	8人以内	11人以内	11人以内
C9病棟	4人以内	9人以内	9人以内	14人以内

医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術にかかる施設基準

当院では、以下の手術において施設基準の承認を受けております(2024年1月～12月)

1. 区分1に分類される手術	件数
ア. 頭蓋内腫瘤摘出術等	100
イ. 黄斑下手術等	353
ウ. 鼓室形成手術等	1
エ. 肺悪性腫瘍手術等	12
オ. 経皮的カテーテル心筋焼灼術	182

2. 区分2に分類される手術	件数
ア. 靭帯断裂形成手術等	94
イ. 水頭症手術等	121
ウ. 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	43
エ. 尿道形成手術等	1
オ. 角膜移植術	1
カ. 肝切除術等	59
キ. 子宮附器悪性腫瘍手術等	31

3. 区分3に分類される手術	件数
ア. 上顎骨形成術等	11
イ. 上顎骨悪性腫瘍手術等	29
ウ. パセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	6
エ. 母指化手術等	4
オ. 内反足手術等	0
カ. 食道切除再建術等	2
キ. 同種死体腎移植術等	0

4. 区分4に分類される手術	1602

5. その他の区分	件数
ア. 人工関節置換術	266
イ. 1歳未満の乳児に対する手術（乳児外科施設基準対象手術）	3
ウ. ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	113
エ. 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）	164
オ. 経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	383

分娩件数

1,374件（2024年1月～12月）

従事者の配置人数【2025年5月】　［産婦人科または産科］に勤務する医師数　22名
［産婦人科または産科］に勤務する助産師数　77名

DPC対象病院

厚生労働大臣が指定するDPC対象病院です。入院医療費は病名をもとに、手術の有無や合併症の有無などに応じて、厚生労働省が定めた1日当たりの診断群分類点数表をもとに計算されます。
詳しくは入院医事課へお問い合わせください。なお、当院におけるDPC係数は以下の通りです。

医療機関別係数	1.5897	機能評価係数Ⅰ	0.3954
基礎係数	1.0718	機能評価係数Ⅱ	0.0976
激変緩和係数	0.0000	救急補正係数	0.0249

（2025年6月1日）

評価療養

・評価療養(先進医療)

名称		金額（税込）
子宮内細菌叢検査1	EMMA+ALICE	77,000円
子宮内細菌叢検査2	子宮内フローラ検査	49,500円
子宮内膜刺激術	SHEET法	40,700円
子宮内膜受容能検査	ERA	169,400円

・薬事法で定める治験に係る療養(医薬品)

選定療養

名　称	金額（税込）
初診時の特別の料金	7,700円
再診時の特別の料金	3,300円
180日を越える入院	2,720円

名　称	金額（税込）
制限回数を超えてうけた診療	
・心大血管疾患ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	2,250円
・脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	2,690円
・廃用症候群ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	1,980円
・運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	2,030円
・呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	1,920円
精子の凍結及び融解	22,000円

名　称	金額（税込）
多焦点レンズの種類	
・アルコン Clareon PanOptix Trifocal	220,000円
・アルコン Clareon PanOptix TORIC Trifocal	242,000円
・アルコン Clareon Vivity	220,000円
・テクニス　ｵﾃﾞｯｾｲVB Simplicity	253,000円
・テクニス　ｵﾃﾞｯｾｲTVB Simplicity	275,000円
・テクニス　ﾋﾟｭｱｼｰ ｵﾌﾞﾃｨﾌﾞﾙｰ Simplicity	253,000円
・テクニス　ﾋﾟｭｱｼｰ ﾄｰﾘｯｸⅡ ｵﾌﾞﾃｨﾌﾞﾙｰ Simplicity	275,000円
・Vivinex ｼﾞｪﾒﾄﾘｯｸ	253,000円
・Vivinex ｼﾞｪﾒﾄﾘｯｸ ﾄｰﾘｯｸ	275,000円
・Vivinex ｼﾞｪﾒﾄﾘｯｸ ﾌﾟﾗｽ	253,000円
・Vivinex ｼﾞｪﾒﾄﾘｯｸ ﾌﾟﾗｽ ﾄｰﾘｯｸ	275,000円

保険外負担

以下の項目について、その使用量、利用回数に応じた実費の負担をお願いしています。

季節性インフルエンザワクチン（12才以下）		4,250円
季節性インフルエンザワクチン（13才以上）		5,660円
水痘ワクチン		9,080円
おたふくかぜワクチン		5,210円
ヒブ感染症ワクチン		9,100円
肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）		7,810円
肺炎球菌ワクチン（プレベナー）		11,000円
肺炎球菌ワクチン（バクニュバンス）		11,880円
帯状疱疹ワクチン（シングリックス）		27,220円
水痘ワクチン（ビケン）		9,080円
A型肝炎ワクチン		8,360円
B型肝炎ワクチン（ビームゲン）		5,230円
B型肝炎ワクチン（ヘプタバックス）		5,290円
BCGワクチン		5,890円
二種混合ワクチン（麻疹・風疹）		13,200円
二種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風）		3,600円
四種混合ワクチン（百日ぜき・ジフテリア・破傷風・ポリオ）		14,300円
五種混合ワクチン（百日ぜき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ）		24,090円
日本脳炎ワクチン		6,600円
ロタウィルスワクチン		19,360円
RSウイルスワクチン		35,200円
乳児健診 1ヶ月児		6,600円
乳児健診		5,880円
3歳児健診		5,010円
集団マタニティエクササイズ		1,650円
遺伝カウンセリング料（初回）		9,900円
遺伝カウンセリング料（再診 30分）		4,400円
遺伝カウンセリング料（再診 60分）		7,700円
凍結精子搬送料		3,300円
IVF（体外受精基本料）　採卵0個の場合		172,890円
IVF（体外受精基本料）　採卵～受精確認		200,390円
ET（胚移植）　新鮮胚移植		96,800円
ET（胚移植）　凍結融解胚移植		111,100円

診察券再発行	1枚	110円
病衣貸与代（新生児用）	1日につき	110円
テレビ用イヤホン	1個	250円
腹帯	1枚	2,860円
ディスポT字帯	1枚	370円
布T字帯	1枚	490円
紙オムツ　テープ止めM	1枚	130円
紙オムツ　テープ止めL	1枚	150円
紙オムツ　テープ止めLL	1枚	230円
紙おむつ（NICU、GCU用）	1日につき	500円
訪問看護等交通費	1㎞あたり	33円
セカンドオピニオン	30分ごと	11,000円
Q-YAGレーザー	1mmあたり（直径）	1,100円
自動搾乳器用初乳容器35mL ×2	1パック	308円
自動搾乳器用ワンデーポンプセットM	1つ	990円
クアトロテスト	1回	40,000円
NIPT（新型出生前診断）	1回	200,000円
コンバインドテスト	1回	80,000円
羊水検査（検査のみ）	1回	50,000円
羊水検査（迅速検査のみ）	1回	70,000円
羊水検査（当院非確定検査後）	1回	80,000円
羊水検査（非確定検査なし）	1回	100,000円
羊水検査PCR（非確定検査なし）	1回	120,000円
羊水検査（他院非確定検査後）	1回	200,000円
羊水検査PCR（他院非確定検査後）	1回	230,000円
※ドルニエ（体外衝撃波疼痛治療）	3回目まで	16,500円
※ドルニエ（体外衝撃波疼痛治療）	4回目	5,500円
※PRP(多血小板血漿)療法 ACP	1回	27,500円
※PRP(多血小板血漿)療法 GPS3	1回	105,600円
※PRP(多血小板血漿)療法 APS	1回	330,000円
高気圧酸素治療	1回	33,000円
※頭皮冷却	4回の場合	151,800円
※頭皮冷却	8回の場合	204,600円

※別途、診察料等が実費となります

通院証明書（病名なし）	1,100円
通院証明書（病名あり）	3,850円
病院診断書	3,850円
入院証明書	9,900円
死亡診断書（原本の写し）	3,300円
死亡診断書（保険会社提出用）	9,900円
健康診断書　検査結果	3,850円
支払い証明　再発行	1,650円

学童災害証明書	330円
入園・登園許可証明	330円
学校生活管理指導表	1,100円
分娩予定日証明書	1,100円
分娩証明書	1,100円
出生証明書	2,200円
出産育児一時金請求書	1,100円
出産手当金支給申請書	1,100円

不妊治療費支援事業費補助金受診等証明書	3,850円
就労可能証明書	3,850円
受診状況証明書	3,850円
特別児童扶養手当認定診断書	1,650円
特別障害者手当認定診断書	1,650円
自立支援診断書	3,850円
自立支援診断書（手帳用）	4,400円
難病法疾患臨床調査個人票	4,400円

身体障害者 診断書・意見書	4,400円
年金診断書	8,800円
保険診断書	9,900円
特定損傷治療証明書	9,900円
自賠責明細書	6,600円
自賠責診断書	11,000円
後遺障害診断書（自賠責）	16,500円
照会文書	9,900円

地域がん診療連携拠点病院

2005年(平成17年)1月より「地域がん診療連携拠点病院」に指定されています。

がん対策は、平成19年4月に施行されたがん対策基本法の基本理念にのっとり推進されています。そのなかで、厚生労働省により全国どこでも質の高いがん医療を提供することが出来るよう、「がん診療連携拠点病院」の整備がすすめられています。
地域がん診療連携拠点病院には以下の役割があります。
・専門的ながん医療の提供
・地域におけるがん診療の連携協力体制の整備
・がん患者さん、住民の方々への相談支援や情報提供等
当院は、上記の地域がん診療連携拠点病院の役割を担い、地域住民のみなさまにとって最適ながん診療の実践に取り組んでいます。

基幹型臨床研修指定病院

基幹型臨床研修病院とは、厚生労働省の定める指定基準を満たすことで、独自の研修プログラムを作成し、臨床研修医の指導を行う病院です。当院は厚生労働大臣より基幹型臨床研修病院に指定されています。基幹型臨床研修病院として、医師の人格涵養、診断・技術の指導を行い、広く社会の医療福祉に貢献できる医師の輩出に努めます。
医師国家試験に合格し、2年間の研修期間中の研修医が患者さんの診察をさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

臨床研修指定区分（施設番号：030392）
臨床研修病院 1980年　3月12日付 指定
単独型臨床研修病院 2003年 10月30日付 認定
基幹型臨床研修病院 2009年　9月24日付 変更（制度改正）

開放型病院　共同診療

地域医療の質の向上に寄与するため、地域の医師と当院の主治医が共同して、入院された方の診察を行うことができる開放型病院です。
共同診療が行われた場合は『共同指導料』、退院時に指導が行われた場合は『退院時共同指導加算料』を請求させていただきます。

医療従事者の負担軽減

■医師の勤務体制等に係る取組み
【勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施】
当直勤務者の人数を増やし、1ヶ月の当直回数を減らす
・40歳以上医師の担当を増やし、40歳以下医師2回/月を超えない状態を維持する
【予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮】
勤務状況を把握し予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮の検討を行う
【当直翌日の業務内容に対する配慮】
当直明けの休日取得を推進する
・診療部長へ当直明けの休日が取得できるよう配慮するように周知を図る
【交替勤務制・複数主治医制の実施】
さらなる交替勤務制の検討
・交替勤務制のシミュレーションを導入し拘束時間等を軽減する
【連続勤務時間の上限設定及びインターバルの確保】
連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保
【短時間正規雇用医師の活用】
育児休業中医師の早期復職を推進するために、保育園の受入れ、病児（病後児）保育室の受入について周知を行い、可能な範囲での復職を促す

■医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容
【初診時の予診の実施】（看護師）
来院前電子問診導入後、スムーズな追加問診やトリアージを実施し、緊急性・重症度を判断する
・来院前問診実施と当日問診の時間比較
【静脈採血、静脈路確保等の実施】（看護師、臨床検査部）
・静脈採血、静脈路確保等の実施は継続して実施していく
・抗がん薬ルートの確保ができるⅣナース人材育成の必要性を検討していく
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【入院の説明の実施】（看護師、入院医事課）
入院前支援件数をさらに増加させる
・1600件/年目標
入院受付にて入院に関する説明
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【検査手順の説明の実施】（看護師、外来クラーク）
説明動画の活用と新規作成を推進する
・新規作成2件
各種検査に対する事前準備等の説明
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【服薬指導】（看護師、薬剤師）
役割分担しながら、患者に合わせた服薬管理・服薬指導を実施する
・実施継続、必要に応じて見直しをする
【診療実績等データの集積管理とその活用】（診療支援室）
学会データベースへの症例登録と集積管理、行政や学会に係る各種調査・申請・報告の対応
・期日に合わせ適宜対応する
【診断書、各種書類の作成支援】（入院医事課、外来医事課 ）
医師の指示のもと作成支援
・実施継続、必要に応じて見直しをする
・作成頻度が高い手書き書類を文書作成システムへ移行する

■看護職員の負担軽減および処遇の改善に資する計画
【業務量の調整】
ムリ・ムダ・ムラの視点で業務改善を実施
①超過勤務時間（前年比5%減）②各職場(委員会)で取り組んだ業務改善達成率（達成率70%）③勤務表作成時間の削減率（50%削減）
【看護職員と他職種との業務分担】
各職場でタスクシフト・シェアの取り組み実施
「看護補助者の業務に必要な能力の指標」を用いた学習支援実施
①看護チーム内でのタスクシフト・　シェア件数（各職場1件以上）
【看護補助者の配置】
採用活動の強化
・本部聖隷国際人材センターと協働して外国人看護補助者の採用活動・就業継続　・新卒の高校生の採用、中途採用
①外国人アルバイト看護補助者：9名　②外国人正職員看護補助者：4名　③2026年新卒採用：3名　④2025年中途採用（ｱﾙﾊﾞｲﾄ含む派遣除く）：5名
【妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮】
育児短時間の制度の変更にともない、利用者の促進をはかる。
①3歳～就学前の育児短時間利用者件数増加：10件
【夜勤負担の軽減】
①看護補助者の夜勤の配置（B3,B7,ERのみ）を検討する
夜勤従事者の増員（専任看護職、看護補助者）
JNAのガイドラインに基づく整備
・11時間以上の勤務間隔の確保　・夜勤の連続回数2連続まで
夜勤業務整理

［ 更新日：2025 年 8 月 1 日 ］